

シカゴ赤門会・さつき会アメリカ：グローバル時代の留学、海外派遣：海外で充実したキャリアとファミリーライフを両立させる為には？



1月22日に「グローバル時代の留学、海外派遣：海外で充実したキャリアとファミリーライフを両立させる為には？」というテーマでオンライン講演会・懇親会が開かれました。シカゴ赤門会、さつき会アメリカの主催で行われ、東大友の会、FUTI Alumni Association が共催をしました。一人でも多くの

東大生、卒業生（男性及び女性）に国際舞台での活躍への興味を持って頂く事を目的とした講演、懇親会で、アメリカ、日本、イギリス、フランス、シンガポールなどから40名ほどの参加があり、オーバータイムになっても議論は尽きず、盛会でした。

国際化が更に進む中で、留学、海外派遣が増える傾向にあります。留学、海外派遣には当人のみでなく、同行する配偶者および家族にも Opportunities and Challenges を伴います。「海外派遣された場合、充実したキャリアとファミリーライフを継続するにはどうすればよいのか？」というテーマで、海外在住経験のある、大学、日本企業、国際機関、及びフリーランスでご活躍の卒業生その他数人に、具体的にお話しいただきました。

海外派遣にどのように対応し、充実したキャリア及び家族との生活を実現するかは、個人の努力のみでなく「帯同休職制度」, 「再雇用制度」などを含めた、企業の雇用制度にも影響されます。現状を理解し、どのような改善が必要なのかについて、参加者の皆様からのご意見を伺いました。

アジェンダは以下の通りです。

I. 問題提議：岩井めぐみ氏

女性がキャリアを続けるには？「帯同」配偶者とは？海外派遣、留学に関連する雇用制度要約

II. 海外派遣、留学に関連する雇用制度— 第一生命グループの事例（制度と課題）

隅野俊亮氏（第一生命ホールディングス取締役常務執行役員）

III.海外でのキャリア：ケース

1. 大学・研究所でのキャリア（細田満和子氏：東京大学文学部社会学科専攻にて博士号、コロンビア大・ハーバード大で研究員を経て星槎大学大学教授、現在日本居住）
2. 企業でのキャリア（岩井めぐみ氏、東京大学薬学部・薬学系研究科修了後東邦大学薬学部にて博士号取得、Asc. Director, Clinical Pharmacology and Exploratory Development, Astellas Pharma Development Inc.（アステラス製薬）、現在米国居住）
3. 国際機関でのキャリア（榮谷明子氏、東京大学教養学部で文化人類学専攻、アメリカ School for International Training で国際コミュニケーション修士号取得。現在ユニセフ・ケニア事務所勤務）
4. 配偶者として同行したキャリア（小西一禎氏、慶應義塾大学卒業後、共同通信社入社。在米中、コロンビア大客員研究員。帰国後、日本の大学院に入学）

アジェンダにある問題提議、企業での実例、個人講師によるケース・プレゼンに続いて、4つの breakout session に別れて、以下のテーマに関して内容の深い、質問・意見交換が行われました。

キャリア中断後の再就職の準備は？

子育てをどう乗り切るか？

女性が生涯を通じてキャリアアップしやすい企業・職種はどの企業・職種？

男性「帯同」配偶者からのコメント

最後に、東大友の会の理事をされている津田敦副学長（社会連携本部長）が、閉会の言葉を述べられました。

今日はたいへん貴重なお話を伺うことができました。地球は小さくなり、時代が変わってきているという実感です。私が大学生の頃は、海外出張はまだめづらしく、教授は生涯に数度のみ出張されていたと記憶します。時代は確かに変わってきており、私がアドバイザーをしている研究機関でも政府から「配偶者帯同制度」を整備するよう指導を受け、制度を作りつつあります。良い制度を作り上げるには、「声を上げる」が必要があると強く感じています。

注：このイベントについてご質問のあるかたは、さつき会アメリカまでご連絡ください。

satsukiamerika@gmail.com